

## 令和6年6月 地域公共交通対策特別委員会資料

現在の公共交通の取組状況とその効果について（現地調査を含む。）

目次	ページ
1 東部地区における路線バスの再編の取組みについて . . . . .	2～3
2 長崎市地域公共交通計画（R3.8）策定後の主な取組み . . . . .	4

令和6年6月  
まちづくり部

# 1 東部地区における路線バスの再編の取組みについて

**実施主体** 長崎市、交通事業者(県営バス、長崎バス)

**【概要】** 『長崎市地域公共交通利便増進実施計画』及び『共同経営計画』に基づき路線バスの再編を行ったもの。

**【実施区域】** 長崎市東部地区(東長崎地区+日見地区)

**【取組内容】**

## 事業Ⅰ 矢上バス停を拠点としたハブ&スポーク型運行への再編

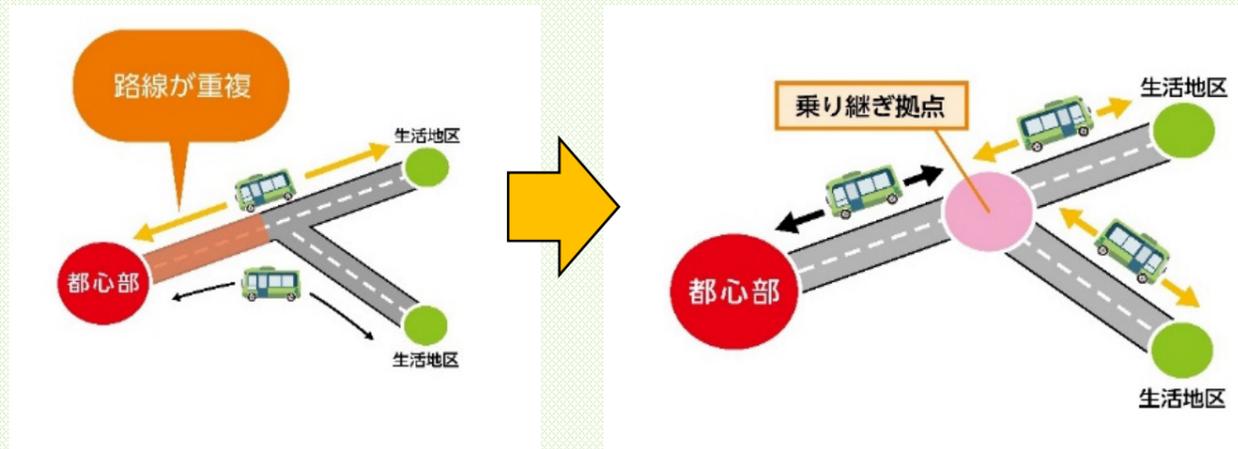
- ① 競合路線の解消(長崎県交通局への一本化)
- ② 幹線路線の運行頻度の適正化
- ③ 利用者が少ない路線のコミュニティ交通化

## 事業Ⅱ 再編と併せて実施する公共交通サービスの向上

- ① ハブ&スポーク型運行に対応した乗継ぎポイントの導入
- ② 東部地区の拠点と市内中心部を結ぶ路線の一部快速化
- ③ 乗継ぎ拠点でのリアルタイムの情報提供



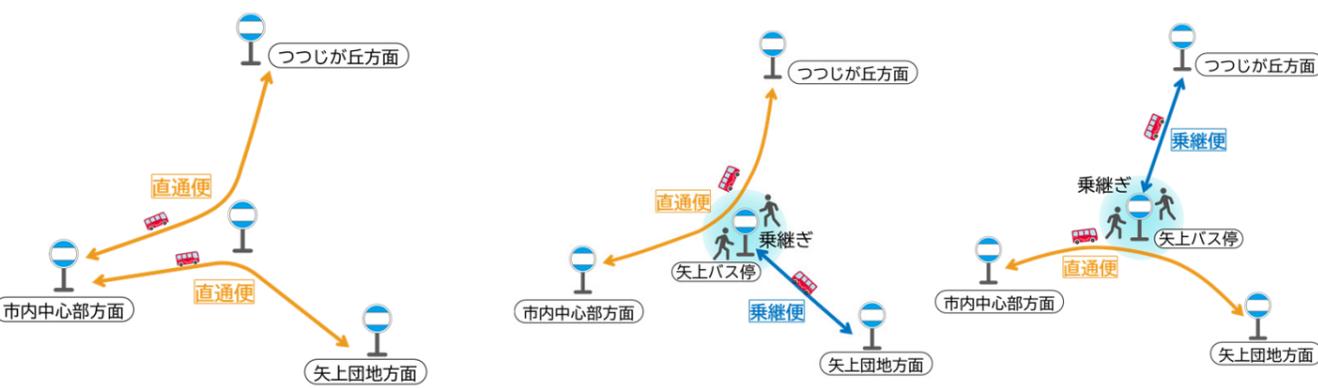
ハブ&スポーク型のイメージ



東部地区の場合

・朝夕の利用が多い時間帯は直通運行

・利用が少ない時間帯で乗継ぎ運行



## 事業Ⅰ: 矢上バス停を拠点としたハブ&スポーク型運行への再編

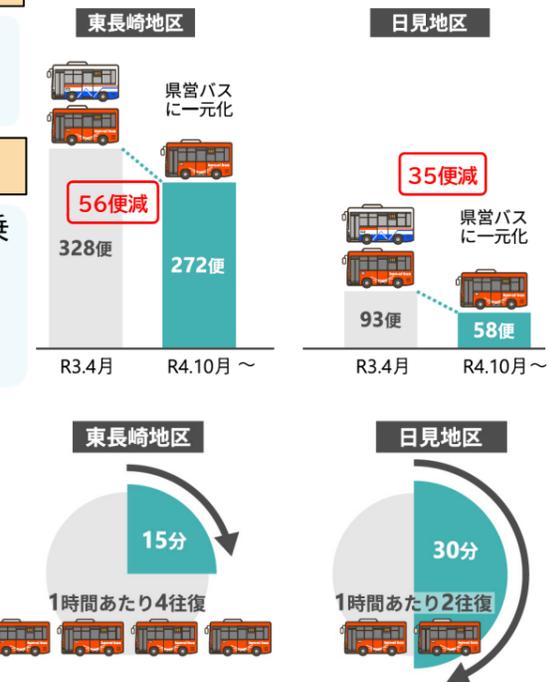
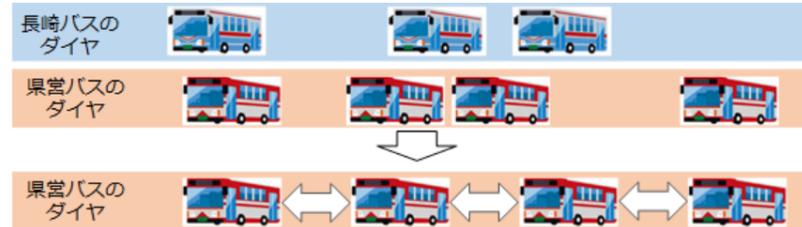
### 事業Ⅰ-① 長崎県交通局への運行の一本化

○長崎県交通局に運行を一本化し、運転手や車両運用の適正化、運行コストの最小化を図った。

### 事業Ⅰ-② 幹線路線の運行頻度の適正化

- 朝・夕ピーク時は立ち席を含めた人数(55人/便)、昼間は座って乗車できる人数(30人/便)を基準として、運行頻度を適正化
- 運行間隔を一定に保つなど、利便性が確保できるダイヤに調整
- 平日昼間時間帯も、人口規模や利用実態にあった運行頻度を確保

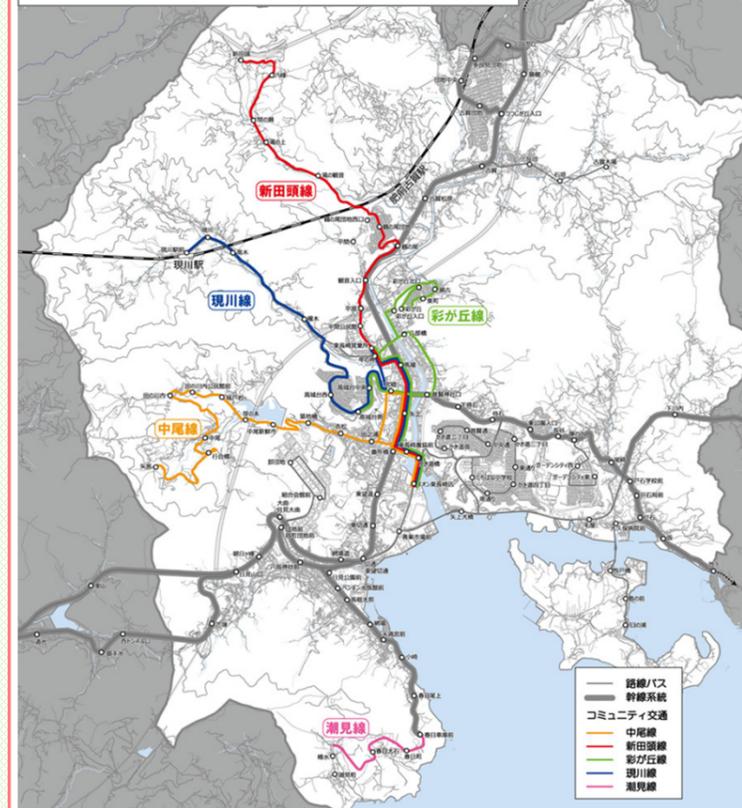
等間隔運行のイメージ



### 事業Ⅰ-③: コミュニティバスへの転換

- 路線効率化を行ってもなお営業路線として運行することが困難な中尾線、現川線、彩が丘線、新田頭線、潮見線の5路線をコミュニティバスへ転換
- 乗継ぎ拠点(ハブ)とする矢上バス停や商業施設などエリア内での周遊性向上にも寄与でき、併せてJR現川駅への接続性を強化・乗継ぎ割引の適用

路線バスとコミュニティバスの路線図



運行頻度

路線	矢上→イオン		イオン→矢上		新田頭線	新田頭→イオン		イオン→新田頭		
	現状	再編後	現状	再編後		現状	再編後	現状	再編後	
中尾線	5便	6便	4便	5便	平日	4便	5便	3便	5便	
	13時まで	4便	4便	1便	2便	13時まで	4便	4便	1便	2便
	13時以降	1便	2便	3便	3便	13時以降	0便	1便	2便	3便
	土曜	3便	2便	2便	2便	土曜	2便	2便	2便	2便
	日祝	3便	2便	2便	2便	日祝	2便	2便	2便	2便
備考	平日朝の登校1便、夕方の下校2便は確保				備考	平日朝の登校1便、夕方の下校2便は確保				
彩が丘線	彩が丘→イオン		イオン→彩が丘		現川線	現川駅前→イオン		イオン→現川駅前		
	現状	再編後	現状	再編後	平日	11便	10便	10便	10便	
	平日	4便	5便	8便	8便	13時まで	6便	5便	4便	3便
	13時以降	0便	1便	7便	8便	13時以降	5便	5便	6便	7便
	土曜	2便	2便	4便	4便	土曜	11便	10便	10便	9便
	日祝	2便	2便	4便	4便	日祝	9便	10便	9便	9便
備考	平日朝の登校2便、夕方の下校2便は確保 ※ルートは彩が丘→高城台南				備考	平日夕方の下校2便は確保 ※登校は路線バスで確保				
潮見線	潮見町→春日車庫		春日車庫→潮見町		平日	3便	3便	3便	3便	
	現状	再編後	現状	再編後	13時まで	3便	3便	1便	1便	
	13時以降	0便	0便	2便	2便	土曜	2便	2便	3便	2便
	日祝	2便	2便	2便	2便	備考				

運行事業者: 長崎県交通局  
 運賃: 長崎県交通局と同一運賃  
 ※現状便数は、令和4年4月時点の路線バスでの運行便数  
 ただし、現川線は高城台西発着を含む昼間の便数

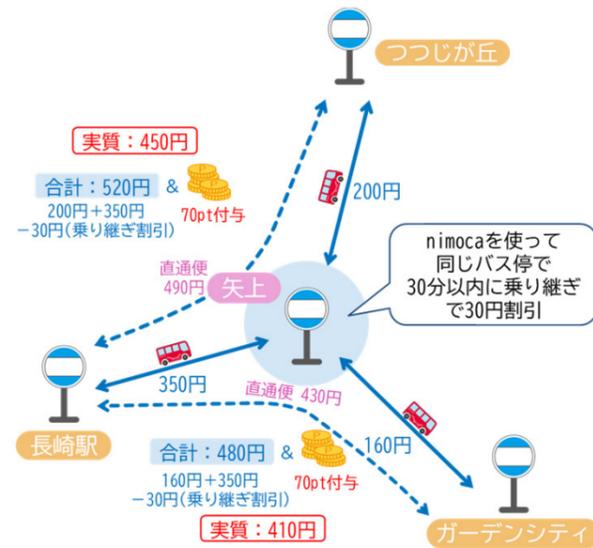
## 事業Ⅱ:再編と併せて実施する公共交通サービスの向上

### 事業Ⅱ-①:ハブ&スポーク型運行に対応した乗継ぎポイントの導入

- 乗継ぎによる運賃増加分はポイントで還元

乗継ぎ拠点(矢上または東長崎営業所)で路線バスを乗り継いだ際、直通運賃と同程度の料金となるよう通常の乗継ぎ割引に加えて70円分のnimocaポイントを追加付与

区間	直通運賃	乗継ぎ運賃	
		未実施	実施
瀬古⇒中央橋 (彩が丘)	380円	450円	380円
現川駅⇒中央橋	440円	480円	410円



### 事業Ⅱ-②:東部地区の拠点と市内中心部を結ぶ路線の一部快速化

- 一部の便を新日見トンネル(奥山)経由の快速便とし、移動時間を短縮

区間	乗車時間の比較		短縮効果
	旧日見トンネル経由	新日見トンネル経由	
矢上 ⇒ 長崎駅	42分	39分	3分

### 事業Ⅱ-③:乗継ぎ拠点でのリアルタイムの情報提供

- 乗継ぎバス停に接近情報や遅延情報を提供

路線バスの接近情報などが把握できるバスロケーションシステムの導入とスマートバス停の設置により利便性を向上

スマートバス停  
(矢上バス停)



運行情報

時刻表

番号	行先 経由	所定時刻 現在地
長崎駅前	中央橋・大波止	12:35 通過済
イオン東長崎店		12:40 通過済
長崎駅前	中央橋・大波止	12:50 6停前
イオン東長崎店		12:55 11停前
イオン東長崎店		13:04 始発前

行先/経由	平日	土曜	日曜
長崎駅前	12:35	12:35	12:35
イオン東長崎店	12:40	12:40	12:40
長崎駅前	12:50	12:50	12:50
イオン東長崎店	12:55	12:55	12:55
イオン東長崎店	13:04	13:04	13:04

## その他:乗継ぎ拠点の整備

- 矢上バス停の上屋やベンチの増設

乗継ぎ拠点(ハブ)である矢上バス停の待合環境を改善



## 取組みの効果

### 再編実施効果(再編を行わなかった場合との比較)

- 運転手数は、再編を行わなかった場合と比較すると 18.8人の削減
- 車両台数は、再編を行わなかった場合と比較すると 15.4台の削減
- 収支は、再編を行わなかった場合と比較すると 255百万円の改善

項目	東長崎地区	日見地区	全体
運転手数	▲13.0人	▲5.8人	▲18.8人
車両台数	▲10.8台	▲4.6台	▲15.4台
収支改善額	205百万円	50百万円	255百万円

### 令和5年地域公共交通優良団体大臣表彰

- 東部地区の路線バス再編の取組みが評価され『令和5年地域公共交通優良団体表彰』を受賞



## 2 長崎市地域公共交通計画(R3.8)策定後の主な取組み

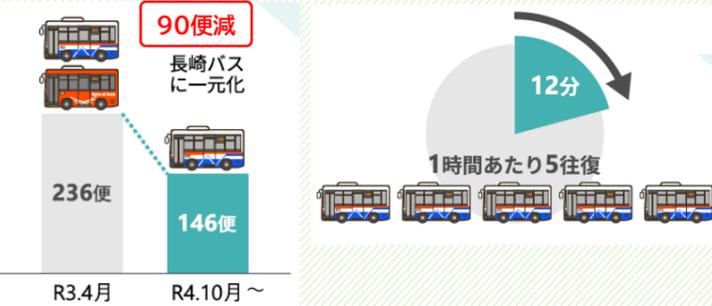
### 「既存路線の効率化・見直し」に関する取組み

#### 競合路線(路線バス)における便数調整

長崎バスと県営バスの『共同経営計画』に基づき、運行事業者の一元化と運行便数の適正化を実施

#### 滑石地区

- 長崎バスに運行を一本化 ※スクール便を除く
- 運行間隔を平準化し利便性を保ちつつ、需要バランスを踏まえて運行便数を適正化



#### 本原地区、矢の平地区、目覚地区、立神地区

- 競合区間の解消による運行の効率化
  - ①本原線………県営バスに一元化
  - ②立山(目覚線)………県営バスに一元化
  - ③矢の平線………長崎バスに一元化
  - ④立神線………長崎バスに一元化(昼間帯のみ)
- 昼間帯の運行便数の適正化
- 利用が少ない路線の区間短縮と効率化
- 最終便の一部繰り上げ



#### 【取組みの効果】

項目	滑石地区	本原地区	矢の平地区	目覚地区	立神地区	5地区合計
運転手数	▲9.0人	▲11.2人	▲1.7人	▲0.9人	▲5.3人	▲28.1人
車両台数	▲7.2台	▲9.0台	▲1.4台	▲0.8台	▲4.3台	▲22.7台
収支改善額	138百万円	66百万円	20百万円	3百万円	25百万円	252百万円

#### 乗合タクシーの運賃改定

- 利用者減少や物価高騰が進むなか運行を維持していくため、5地区において、令和5年4月1日から運賃を改定
- 5地区:丸善団地、矢の平、北大浦、西北、金堀
- 収支率の改善 R4:54% ⇒ R5:70%

区分	改定前	改定後
大人	200円	300円 (+100円)
小人	100円	150円 (+50円)

#### まちなか周遊バスの運行

- 長崎バスと県営バスの独自の取組みとして、『共同経営計画』に基づき、長崎市中心部における回遊性の向上を目的とした新たな路線を開設し共同運行を実施
- 概ね9:00~16:00 毎時20分間隔で運行(22便/日)



### 「公共交通サービスの向上」に関する取組み

#### バスロケーションシステム導入、スマートバス停設置

- 路線バスの運行状況や接近情報を検索できるバスロケーションシステムが運用開始  
県営バス:令和6年3月13日~  
長崎バス:令和6年4月1日~
- 県営バスは矢上バス停にスマートバス停を設置
- 長崎バスは宝町、道ノ尾、住吉など36箇所にもスマートバス停を設置



時刻表(電子ペーパー)

#### 路線バス・路面電車運賃無料デーの実施(R5のみ)

- 令和5年度に7回実施 (令和5年6月~令和6年3月)
- 延べ約105万人が利用

#### 【主な実施結果】

- 利用者数は通常より1.6倍~1.8倍に増加
- 主な観光・商業施設の来場者数が増加
- 主要な交差点の交通量が、前週より1~2割程度減少
- 利用者のうち日頃公共交通を利用しない方が約2割
- うち今後も利用したい方が約6割

#### 長崎市内バス・路面電車 運賃無料デー



#### 路線バス・路面電車昼間定期券割引の実施(R5のみ)

- 長崎バス、県営バス、路面電車それぞれで、昼間の時間帯に乗り放題となる定期券を半額で販売

通常1ヶ月 7,000円  
↓  
3,500円

#### 超低床式路面電車の導入

- 長崎電気軌道(株)により、超低床式車両導入を推進
- ・R3~R5導入台数 2台
- ・低床車両導入台数合計 8台(11%)



#### 低床式車両バスの導入

- 低床式車両の導入を推進
- ・R3~R5導入台数 33台 (長崎バス、県営バスとの合計)
- ・低床車両導入台数合計 557台(66%) (長崎バス、県営バスとの合計)

